

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年2月16日（月）

2 確認箇所

- ・ JAEA第2棟建設予定地（図1）
- ・ 増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

- （1） JAEA第2棟建設工事の状況
- （2） 増設多核種除去装置洗浄ラインの状況

4 確認結果の概要

（1） JAEA第2棟建設工事の状況

日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）は、事故で発生した燃料デブリ等の安全な取り出し等の作業推進に資するための燃料デブリの性状の把握を目的に、福島第一原子力発電所の敷地内に、放射性物質分析・研究施設第2棟（以下「JAEA第2棟」という。）の設置を計画している。

JAEA第2棟の建設工事は、令和7年3月31日に着手し、県においては、当該工事の進捗状況を継続的に確認している。本日は、その取組の一環として現地確認を実施した。（前回確認：[令和8年1月19日](#)）

- ・ 現場確認時、1階の西側の壁ではコンクリートを打設し、静置されていた。今後は北側、東側、南側の順で、1階の壁のコンクリート打設を実施することである。
- ・ 搬入された廃棄物等を取り扱うコンクリートセルの床面をステンレスで被覆する作業が行われていた。
- ・ 前回確認時に、基礎工事で設置したH鋼（矢板）部分とJAEA第2棟の外壁の隙間を塞ぐために、当該基礎工事により発生した残土を再利用した改良土を製作するプラントを設置していたが、今回確認時はプラントが撤去されていた。

（2） 増設多核種除去装置洗浄ラインの状況

東京電力は、「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染※（令和5年10月）」、「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい（令和6年2月）」、「大型機器点検建屋西側における掘削作業による所内電源A系停止（令和6年4月）」など、所内設備に関するトラブルが連続して発生したことを受け、発電所における全ての作業に対して作業点検を実施し、それに基づく継続的な改善活動に取り組んでいる。

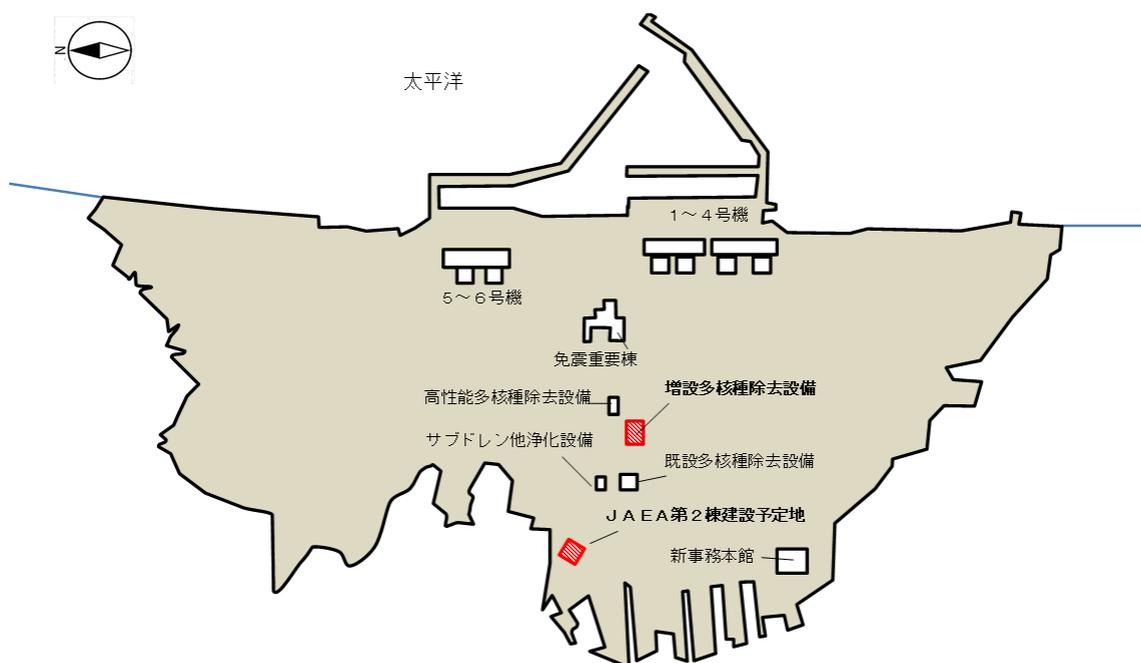
このうち増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）においては、上記トラブルを踏まえ、洗浄用配管の新設などの恒久対策が進められている。

増設ALPSは3系統（A系、B系及びC系）で構築されており、この対策によって循環洗浄が可能となり、B系においては、新設された循環洗浄用配管を使用しての洗浄作業が開始されている。

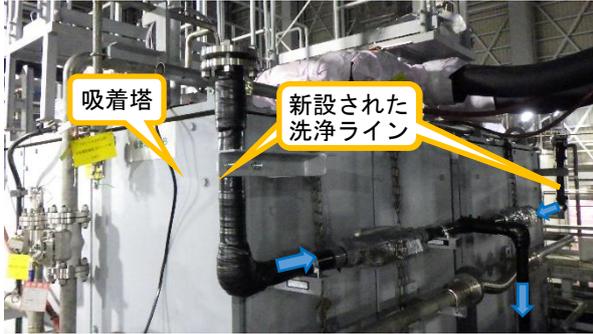
今回は、循環洗浄用新設配管の設置状況について確認した。（前回確認：令和8年1月20日）

- ・増設ALPSの全ての系統において、吸着塔から吸着塔入口バッファタンクへの循環洗浄用の配管が設置されていることを確認した。（写真1）
- ・循環洗浄を行う際は、既存配管から接続部を取り外し、取り外した配管を回転させて新たに設置した配管に接続させる構造となっていることを確認した。（写真2）
- ・確認した範囲では、建屋内に設置されている設備及び配管からの漏えい等の異常は認められなかった。

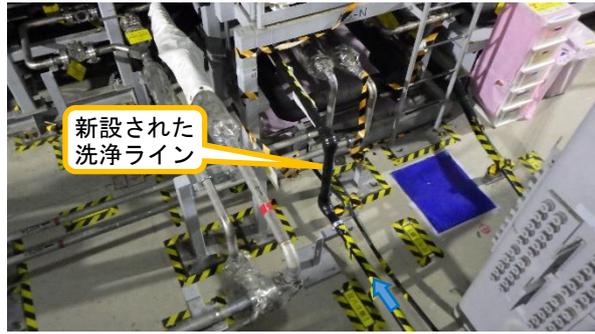
※ 増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染：令和5年10月25日、増設多核種除去設備（増設ALPS）にて、クロスフローフィルタ出口配管内の洗浄作業を実施していたところ、洗浄廃液を移送していた受入タンク内から仮設ホースが外れ、近傍で作業していた作業員に洗浄廃液が飛散した。洗浄作業に携わった作業員5名のうち4名に身体汚染が生じた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) 循環洗浄用新設配管の設置状況①



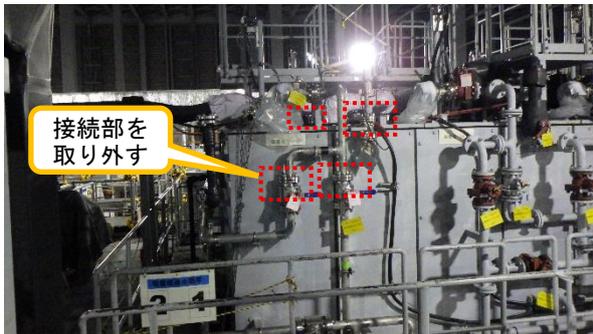
(写真 1 ②) 循環洗浄用新設配管の設置状況②



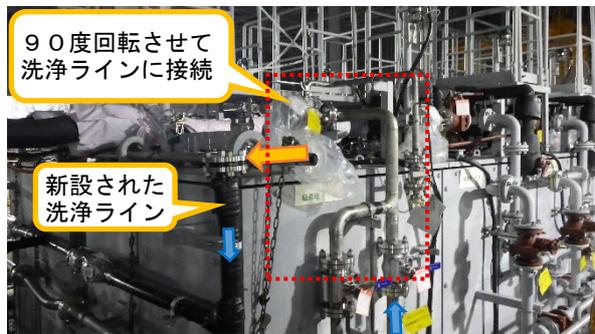
(写真 1 ③) 吸着塔入口バッファタンクへの接続状況



(写真 1 ④) 吸着塔入口バッファタンク上部の接続状況



(写真 2 ①) 配管の接続方法①
※赤枠部を取り外す



(写真 2 ②) 配管の接続方法②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。